

## 団地のなかの里山—からと公園林を楽しむ会

渡辺昌造・柘植一輝・橋口佳夫（からと公園林を楽しむ会）

### からと公園林って？

六甲唐櫃台公園とその隣にある市営住宅跡の傾斜地には、団地開発の前の自然林が残されています。0.2ヘクタールほどのせまい場所ですが、ここ公園林と里山林が私たちの活動場所です。



写真1 住宅跡の傾斜地 里山林

### 唐櫃台（からとだい）はどこにある？

神戸市北区唐櫃台は、神戸電鉄唐櫃台駅を玄関とする、いまから60年ほど前に作られた団地です。北は丹生帝釈山系、南は六甲山系の逢ヶ山、古寺山にはさまれ、東には山を隔てて有馬温泉があります。公園林は駅から歩いて5分ほどです。

### これまでの歩み

25年前の里山林はうっそうとした放置林で、大量の不法投棄の山だったそうです。その頃はぶっそうな誘拐事件があいついでおり、この前を中学生が恐る恐る学校に通っていました。当時の中学校のPTAが中心になって、このごみの山を片付けだしたのが、私たちの会の始まりです。発足の代表の方が「いいことはみんなが動く」と感動深く話されています。

それから団地のなかの小中学生や高校生も参加して、里山林がみるみるきれいになり、自然の観察場所にもなってきました。神戸北高は地域環境保全活動として20年以上活用され、そのお手伝いをしてきました。2023年には環境功労賞知事表彰を受けることができました。



写真2 当時の活動の様子

### どんなことをしてるの？

#### 公園林の美化活動

通路の落葉清掃や植え込みのせん定などを月に1回行っています。公園の自然林は斜面に生えていて、地面が雨で流され根がむき出しになっています。そのままだと木が痛んだり、倒れたりする恐れがあるので、土が流されないように、間伐した材木や枝で流れ止めを作ったりしています。ここは子供たちが好んで遊ぶところで、団地の保育園児たちも遠足にやってきます。

#### 神戸北高生たちの里山体験活動や自然観察

高校生たちは、里山の雰囲気と作業体験の活動に年に6回ほどやってきます。そのときは、ササユリの花や芽生えを観察したり、セミの抜け殻を集めたりといった季節に応じた自然と触れ合うようにしています。それから鎌や、時には高枝鋸を使って草刈りや下枝刈りを体験します。ふだん自然や生き物に触れる機会がまったくない生徒も、キャーキャーいいながらやっています。

#### 公園林や逢山峡の自然観察

公園林の樹木を観察したり、団地からほどなく歩いていく逢山峡を観察したりしています。里山林は、生き物にとって団地のなかのオアシスですが、人にとっても癒しの場所です。逢山峡は夏にはキャンプや沢登りのグループでにぎわう自然美の溢れたハイキング道です。初春はマンサク、タムシバ、初夏にはコアジサイやコガクウツギ、冬は冬芽など、一年中、自然を満喫できる

ところでは。

### 公園林・里山林の生き物たち

公園林はアカマツやコナラが主な林ですが、ミヤマガマズミ、コバノミツバツツジなど49種の樹木が生育しています。シジュウカラ、コゲラなどの野鳥も多く訪れます。

里山林もコナラ、アベマキが主な林ですが、林床にはササユリやギンランといった希少な植物も多くみられます。通りに面して植えられたナツツバキも通行人の眼を楽しませています。野鳥も多く飛んできますが、かつてアオゲラがいるのを発見しました。アオイトトンボが高密度で休んでいることもありました。カタツムリも団地のなかではあまり見かけないニッポンマイマイもいたり、ヒバカリやジムグリといったヘビもいます（注意ポスターに書いているニホンマムシはまだ見ていません）。



写真3 里山林内に咲くササユリ



写真4 道沿いのナツツバキ

### いまの課題

新しい仲間を呼びかけるポスターを掲示したり、チラシを配ったりしていますが、なかなか輪を広げることができていません。一昨年から、地域のイベントに参加して、「どんぐりを育てよう」、「むしむしフェスタ」などを開いて、地域のなかの活動に取り組んでいこうとしています。来年度からは中学生の部活動を応援するために、からと自然観察部を立ち上げました。自然に興味を持った子供たちや地域のみなさんが集まってくれることを期待しています。

### 将来の夢

唐櫃台は自然豊かな団地です。川や山がすぐ近くにあって、下唐櫃や上唐櫃の歴史ある村落が隣り合って、古くからの神社やお寺があります。唐櫃地域全部が自然の博物館＝からとフィールドミュージアムとして、自然を愛好する人みんなが楽しめる活動の場にできればと思います。

以上



写真5 保育園児も楽しむ所



写真6 北高生によるエノキの植樹



写真7 玉切り体験